

令和4年度(2022年度)「CAN-DOリスト」形式での学習到達目標

【卒業時】

自立した英語学習者として、英語での情報を的確に理解したり、積極的に伝えたりすることができる。

受容の領域

発信の領域

学年及び CEFRレベル	聞くこと(Listening)	読むこと(Reading)	話すこと(Speaking)		書くこと(Writing)
			やり取り (Spoken Interaction)	発表 (Spoken Production)	
【第3学年】 CEFR(B1)	1. 身近な事柄に関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。 2. はっきりとなじみのある発音で話されれば、社会的な話題について、概要・要点・詳細を捉えることができる。	1. 幅広い日常的な話題について、新聞記事や物語などから必要な情報を読み取ることができる。 2. 社会的な話題に関する短い会話や説明を読んで、必要な情報を読み取り、概要・要点・詳細を捉えることができる。	1. 関心のある事柄や、ごく身近な話題について、事前の準備をせずに、やや短めの会話に参加することができる。 2. 社会的な話題について、簡単な英語を用いて、具体的な理由や根拠を交えて、意見交換をすることができる。	1. 幅広い日常的な話題について、ある程度まとまりのある内容を話すことができる。 2. 興味・関心のある社会的な話題について、内容を簡潔に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができる。	1. 身近な事柄について、複数のパラグラフから成る説明文を書くことができる。 2. 文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されれば、興味・関心のある事柄について、まとまりのある文章を書くことができる。
【第2学年】 CEFR(A2)	1. 日常生活において必要となる基本的な情報を聞き取ることができる。 2. ゆっくりはっきり話されれば、社会的な話題について、概要や要点を捉えることができる。	1. 日常的な話題について、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取ることができる。 2. 平易な英語で書かれた短い論証文や報告文などを読んで、概要や要点を捉えることができる。	1. 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、事前に準備をすれば、会話に参加することができる。 2. 社会的な話題について、簡単な英語を用いて、理由や根拠を交えて、意見交換をすることができる。	1. 事前の準備をせずに、日常生活に関する簡単な事実を短く伝えることができる。 2. 身近な事柄や出来事について、簡単な英語を用いて、理由とともに短く話すことができる。	1. 身近な事柄について、目的や読み手を意識しながら、基本的な語句や文を用いて書くことができる。 2. 聞いたり読んだりした内容について、情報や考え、気持ちなどを、理由や根拠とともに書くことができる。
【第1学年】 CEFR(A1)	1. 簡単な自己紹介を理解できる。 2. 繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきり話されれば、社会的な話題について、概要を捉えることができる。	1. 日常生活の身近なことを表す文を理解できる。 2. 平易な英語で書かれたごく短い説明文や論証文などを読んで、視覚情報などを参考にしながら、概要を捉えることができる。	1. 繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきり話されれば、ごく身近な日常的な話題について、伝え合うやり取りを続けることができる。 2. 社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを簡潔に述べ合うことができる。	1. 事前の準備があれば、自己紹介をしたり、日常生活に関する簡単な事実を伝えることができる。 2. ごく身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	1. 自分の経験・趣味などについて、基本的な語句や文を用いて書くことができる。 2. 文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されれば、ごく身近な事柄について、基本的な語句や文を用いて書くことができる。